



Photography

輝き・やすらぎ・賑わい



新春 書き初め大会

編集後記

新しい年が明けた。昨年の東日本での大地震・津波・原発被害から被災者の皆さまが一日も早く立ち直り、笑顔が戻ることを願わずにいられない。

大震災に対して、市民の皆様からは、1100万円を越す義援金が寄せられた。また、ボランティアの方々も現地に駆け付け支援活動を続けていると聞く。

防寒工事のまだ終わらない仮設住宅や、原発事故も収束したとは言えない状況の中で、いっそうの支援が求められている。被災者の方々に寄り添う気持ちを持ち続けたい。

本市議会では、6月定例会で「原発依存から再生可能エネルギーへの転換」を求める意見書と、12月定例会でTPP交渉参加に関して「国民への情報開示と

国益に背く場合は交渉を中止するよう求める」決議を全会一致で挙げた。

TPPは農業だけでなく、医療や食の安全も脅かされることが問題となっている。

地方は国の動向を注視し、災害時に市民の生命、財産を守ることのできる足腰の強いまちづくりを目指さなければと思う。

今号紙面を工夫してみた。広報委員一同、読者の皆様に読みやすく、より親しんで頂ける「議会だより」であるよう改善を重ねていきたい。

辰の年、皆様の運気も上昇しますように。

(大岸 眞弓)